



全国2千以上の消防団から10団体のみに与えられる栄誉

日本消防協会「特別表彰まとい」受賞

消防団として最大の誉れ

令和2年3月3日、第72回日本消防協会定例表彰で、小林市消防団に「特別表彰まとい」が授与されました。

この特別表彰まといは、昭和54年度に創設され、全国約2200ある消防団の中から毎年10団体に限り授与されるもので、公益財団法人日本消防協会が行う表彰の中で最高位とされています。

今回の表彰では九州地区で唯一、本市消防団のみが受賞しました。

多くの活動・実績が評価

市消防団は規律厳正・技能熟達の活動などにより、これまで「日本消防協会表彰旗（※①）」や「消防庁長官表彰旗（※②）」を受賞しました。

また、県消防操法大会での優勝や、女性部の全国女性消防操法大会への出場など長きにわたり優秀な成績を堅持していることが評価され、まとい「受賞となりました。

※①昭和31年度、昭和47年度、平成6年度、平成13年度に受賞
※②平成6年度に受賞



宮原市長に受賞を報告する市消防団 芝原靖彦 団長

まとい（纏）

まといは、町火消しの各組が用いた旗印の一種で、元は戦国時代の馬印がその原型。江戸時代に入り戦場での使用に代わって火消が火災現場で用いる標具となり、現在でも消防団のシンボルとなっている。

今回受賞のまといは、高さ2・1メートル、重さ8キロで頭には「日消」の文字があらわれ、馬簾と呼ばれる革製の房飾りがつく。

まといとのダブル受賞の榮譽

第72回日本消防協会定例表彰では、小林市消防団女性部にも「優良婦人消防隊」が授与されました。この表彰は設置後3年以上の、優良な婦人消防隊または女性消防隊に授与されるもので、市消防団女性部のこれまでの活動や令和元年11月開催の全国女性消防操法大会への出場などの成果が認められての受賞となりました。この表彰も九州地区では本市消防団のみが受賞し、特別表彰まといとのダブル受賞となりました。



宮原市長に受賞を報告する市消防団 女性部団員

芝原靖彦団長のコメント

県消防協会長から「まといを受賞した」との第一報を受けたときは大変驚きました。また、優良婦人消防隊とのダブル受賞は大変榮譽なことです。まといは過去の受賞歴や消防団としての日頃の取り組み、災害時の活動などが考慮され選ばれると聞きまです。そのため、現団員のみならず歴代消防団員の研鑽や、市民のみなさまのご理解・ご協力があったからこそこの受賞であると考えます。深く感謝いたします。

まといを特別展示中

「特別表彰まとい」を展示しています。

◆場所 市役所本庁舎入口付近

◆時間（土日・祝日を除く）8時30分～17時15分

◆展示期間

令和2年8月～12月まで

※展示期間は予告なく変更する場合があります



小林市消防団のあゆみ

◆発足から現在まで◆

- 昭和22年 小林市消防団発足
- 昭和22年 野尻村消防団発足
- 昭和23年 須木村消防団発足
- ※昭和22年消防団令、翌23年消防組織法の施行により全国の「消防団」が「消防団」へと改編され、消防を警察から分離独立し、地方自治体制へと変更された
- 昭和30年 野尻村と紙屋村の合併により野尻町消防団となる
- 平成18年 小林市と須木村の合併により現在の小林市消防団となる（団員定員412人）
- 平成22年 小林市と野尻町が合併（団員定員532人）

◆主な受賞・操法大会優勝歴◆

- 特別表彰まとい
 - 令和元年度（小林市）
- 日本消防協会表彰旗
 - 昭和31年度（旧小林市）
 - 昭和47年度（旧須木村）
 - 平成6年度（旧野尻町）
 - 平成13年度（旧小林市）
- 消防庁長官表彰旗
 - 平成6年度（旧野尻町）
- 県操法大会優勝歴
 - 平成6年 小型ポンプ積載車（旧小林市第2分団12部）
 - 平成16年 ポンプ自動車（旧野尻町第3分団6部）
 - 平成20年 ポンプ自動車（旧野尻町第3分団6部）
 - 平成26年 小型ポンプ積載車（小林市第7分団5部）